

令和8年度 第1回政策推進会議報告

日 時 4月21日 9時30分～10時00分

場 所 WEB 会議

出席者 18人

1 尼崎市新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）及び素案に対する市民意見公募 手続の実施について

危機管理安全局長から資料に基づき報告。

2 その他

○保健局長から「あまっ！うまっ！すごっ！尼メシプロジェクト」始動 ～食育ロゴマークとキャッチフレーズで健康に～について説明。

○こども青少年局長から学びと育ち研究所研究報告書の発行について説明。

○経済環境局長から尼子騷兵衛漫画ギャラリー第5回企画展「落第忍者乱太郎連載40周年記念『忍たまの友 人之巻』原画展」について説明。

○教育次長から「尼崎市多文化共生教育ガイドライン」の完成についてについて説明。

（デジタル政策監）

教育現場の中で、言語の壁というのは非常に難しい問題ということで、翻訳ツールを導入されたと思うが、現状どういった活用状況となっているか、また何か課題はあるか。

（教育次長）

現在、県からの日本語サポートスタッフの派遣と、ポケトークなどの翻訳タブレットを併用し、外国人児童生徒の学習支援を行っている。学校を視察した際には、授業でこれらのツールを活用する児童生徒の姿も確認できた。ただし、機械翻訳には不自然な表現が生じる場合があるため、日本語サポートスタッフによる人的支援を行うとともに、他の児童生徒によるサポートも行われている。

（デジタル政策監）

そうしたツールは教育現場だけでなく、市役所の窓口含めて様々なところで導入されているので、その利用課題といったところは把握していきたい。

（市長）

現在、運用中の支援ツールについては、導入したものの期待通りに活用されていないケースや、逆に想定以上に使用されているケースなど、様々な課題が見受けられるので、こうした状況を踏まえ、今後は政策の中で実際の活用状況を検証し、適切な運用方法を検討していく必要があると考えている。

一方で、1月末の衆議院選挙直前に国が策定した「外国人の受入れ・秩序ある共生のための

総合的対応策」により、入国管理や日本語教育関連の予算が大幅に増額されたことを確認している。この予算が新年度の4月から実際に執行されているか、あるいは各省庁で具体的な事業として動き始めているかについては、現時点で私の方では把握できていないが、気になっているのは、日本語教育に関する具体的な指示や予算配分の通知が国から来ているかどうかという点で、施策の中にプレスクールなどの取り組みに関する記述も見受けられ、今後も、国の動向について引き続き注視し、特に新年度予算に関連する動きがあれば報告してほしい。こうした国の方針や予算の動きを的確に把握することが重要だと考えている。

○教育次長から尼崎市立歴史博物館第17回企画展 尼崎市文化財保存活用地域計画
認定記念「歴史文化遺産－地域の姿を映す資料－」について説明。

○教育次長から尼崎市立歴史博物館第17回・第18回企画展同時開催「110年
前の尼崎と現在」について説明。

以 上